

広島スポーツ取材歴半世紀

文命の歳時記

広島に世界で初めて原爆が投下されて1年もたない1946年春、廃虚と化した中の仮校舎でバレーボールに打ち込む姿があった。全国優勝17回を誇る「高校三大家」と言われた崇徳バレー部の誕生である。

あれから70年。崇徳高バレーボール部は盛大な祝賀会を開き、思い出を懐かしみ、語り合い、記念誌を発刊して新たな歴史をつくりへの一歩を踏み出す。その間、75年に監督とOBや関係者で「崇徳高バレー部創部70周年祝賀会」を開催し、吉川渉コーチが監督に昇格。3冠を含む9回の全国制覇を成し、5輪、世界選手権、ワールドカップ合わせて



OBや関係者で「崇徳高バレー部創部70周年祝賀会」を開催し、吉川渉コーチが監督に昇格。3冠を含む9回の全国制覇を成し、5輪、世界選手権、ワールドカップ合わせて

して高校野球で11回出場。日本の頭脳甲子園初出場初優勝して話題を呼んだ久保和彦氏も一時、バレーボール部の部長を務めているのも何かの縁だろう。

山下仁OB会長も「何とか一つタイトルをつかんでほしい。最大限バックアップしたい」と期待する。猫田氏の死から33年。崇徳復活は、広島バレー界の願いでもある。

(早川文司)

WOWO

早川文司(はやかわぶんじ)1937年、広島市中区生まれ。60年に中国新聞社入社。運動部でサッカー、ハンドボール、バレーボール、高校野球など主にアマチュアスポーツを担当。96年に同社を退社し、フリーライターとなる。日本サッカー協会75周年功労者表彰、日本ハンドボール協会60周年で感謝状を受ける。著書に「サンフレッチェ広島・奇跡のイレブン」など。

被爆の廃虚で誕生して70年 崇徳バレー 復活は広島への悲願

週刊 木曜掲載